

# Roots

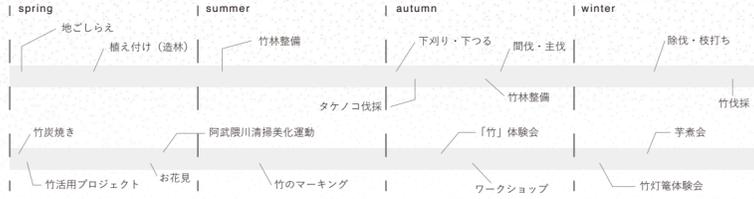
cross section a - a'



## concept

我々は丸森町の森を守る活動において、長期住み込み型職住一体の施設を計画した。この形態は土地や外部環境の影響から植物的に形成され根を張り、広がっていく。空間は枝分かれしていくことで視線の流れや外部空間とのつながりを生み出す。また、可変性を持ち合わせた内部空間では、シーンに合わせて空間を区切ることができ、有機的に生活スタイルを変化させていく。いずれこの根は丸森町全域の森に広がり強く豊かに育った森を作り上げ、さらにその根を張りめぐらせる。

## regional activity

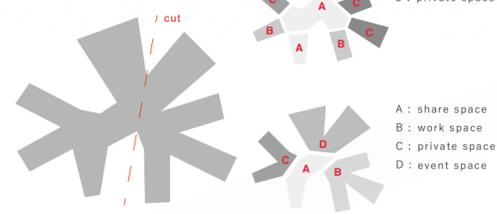


丸森町全域の森では竹林が多く存在し、それらを管理する事ができず放置竹林となっている事が問題視されている。NPO法人あぶくま里山を守る会では、丸森市民を集い木の間伐の活動、放置竹林を整備する活動を主にしている。しかし森の中でもほんの一部しか手をつけていないのが現状である。これらの問題に対し、職住一体という近い距離で竹林や森林の整備を行うことでその森のルーツや課題点を発見し、改善していくことで真に森との共生となるのではないか。この活動により綺麗で安全な森を育てながら豊富な資源である竹や木を活用した食や文化を通して地域循環を促進しつつ森と共存した豊かな生活を創造する。

## diagram I

parts of

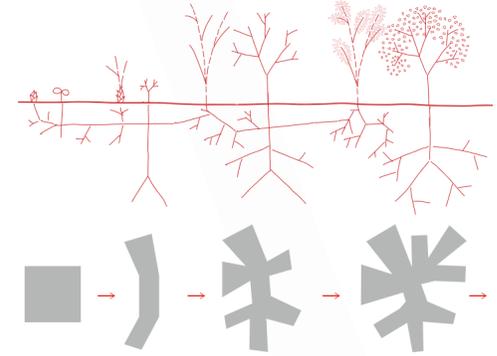
枝分かれした形は区切る位置でボリュームが変化し、様々な生活スタイルを生み出す。



## diagram II

phototropism

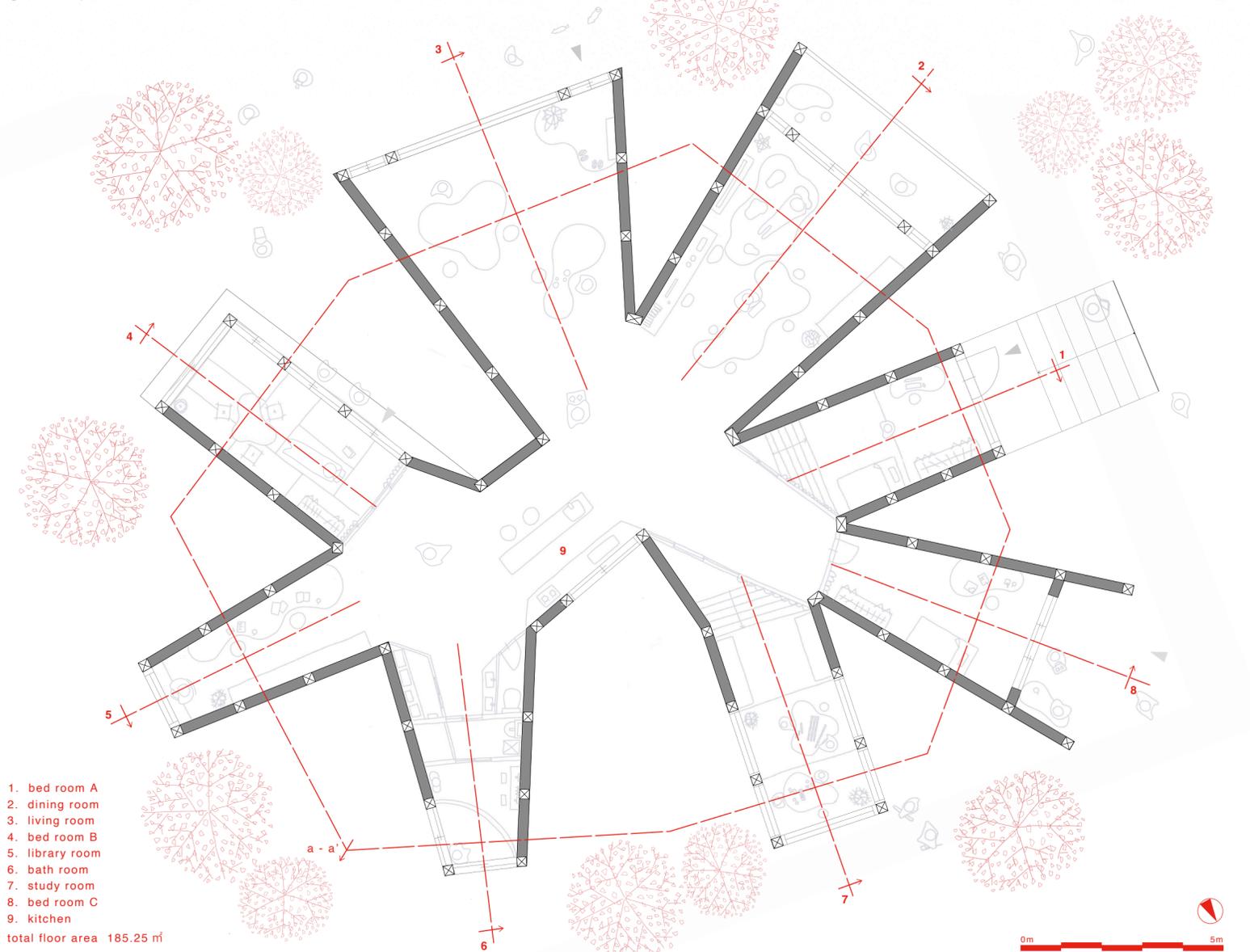
一つの種が分散し、多くの芽を出すように植物的に空間は広がっていく。



## site plan



## ground plan 1 : 100



1. bed room A
2. dining room
3. living room
4. bed room B
5. library room
6. bath room
7. study room
8. bed room C
9. kitchen

total floor area 185.25 m<sup>2</sup>

## cross section plan 1 : 150



1. bed room A

高さを出すことで、外部の視線からプライバシーを守りつつ室内からの視線を通す。



5. library room

地面に埋まった空間は、落ちついた静かな場を作り上げ、視線と光が地表に沿って通る。



2. dining room

外部に向かって広がることで空間に開放感を与え、屈折した室内の通路から徐々に視線が通るようになっている。視線の先には反対側の山が見え森の管理による変化を感じ取る。



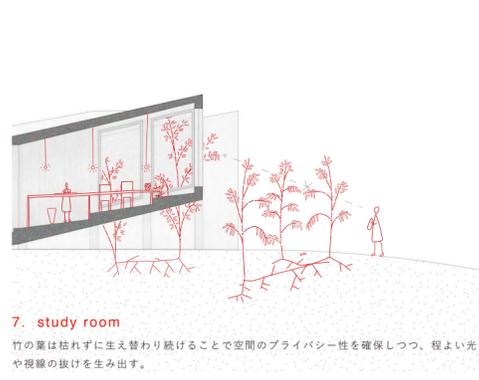
6. bath room

2面彩光により空間に開放感を与え、森との距離を縮める。風を多く取り込み内外の境界を曖昧にする。



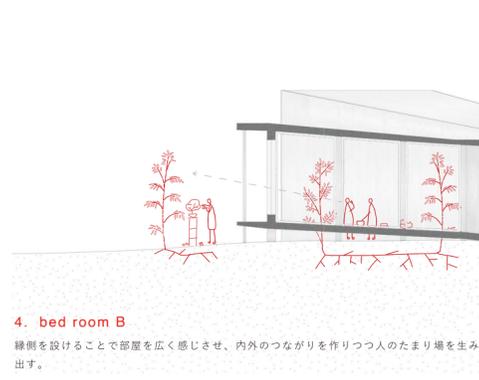
3. living room

扇形に開いた形は1日の太陽の動きを長く捉え、暖かい空間を作り出す。



7. study room

竹の葉は枯れずに生え替わり続けることで空間のプライバシー性を確保しつつ、程よい光や視線の抜けを生み出す。



4. bed room B

縁側を設けることで部屋を広く感じさせ、内外のつながりを作りつつ人のたまり場を生み出す。



8. bed room C

突き出したスペースが作業スペースや人のたまり場となり、アクティビティを生み出す。